

本別町国民健康保険病院新改革プラン（第2期）の実績について

○令和4年度における数値目標の実績について

・医療の提供に係る数値目標

(単位：%)

	H30実績	R1実績	R2実績	R3		R5目標	R6目標	R7目標
				上段：目標 下段：実績	R4 上段：目標 下段：実績			
平均入院患者数 (人/日)	42.3	46.5	44.7	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0
				38.9	35.7			
病床利用率 (%)	70.6	77.4	74.5	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
				64.8	59.4			
平均外来患者数 (人/日)	171.3	163.1	142.6	157.0	157.0	158.0	159.0	160.0
				117.5	116.2			
紹介患者数 (人)	45	40	18	50	50	50	50	50
				22	5			
逆紹介患者数 (人)	9	51	38	30	50	50	50	50
				35	12			

※ 令和4年度平均入院患者数のうち地域包括ケア病床利用者 5.0 人/日庫
(令和3年度 6.0 人/日)

(分析)

入院、外来とも患者数の目標を下回っており、令和2年度から3年度中の常勤医の退職の影響が大きい。令和4年9月に常勤医（内科）1名を採用したが、年末の新型コロナクラスター発生による入院制限もあり、入院については対前年でも大きく減少している。

紹介、逆紹介患者数は、コロナウイルスの影響で移動制限を行う医療機関が多かったことの影響もあり、紹介患者数、逆紹介患者数とも大きく減少し、目標に達していない。

・経営指標に係る数値目標

入院及び外来診療単価

(単位：円)

	H30実績	R1実績	R2実績	R3		R5目標	R6目標	R7目標
				上段：目標 下段：実績	R4 上段：目標 下段：実績			
1人あたり 入院診療単価	23,272	22,759	23,072	24,617	25,200	25,200	25,200	25,200
				25,001	24,030			
1人あたり 外来診療単価	7,505	7,777	8,353	8,263	8,335	8,335	8,335	8,335
				9,285	9,196			

(分析)

外来は目標値を達成することができたが、入院では対前年 971 円減で目標値達成に至らなかった。入院総数が減少した中で令和 3 年 1 月から稼働した地域包括ケア病床の利用も減少、外来では全体の患者数の減少により相対的に人工透析の構成割合が上がったことの影響が大きい、リハビリ専門職の増員によるサービス提供数の増の効果もあるものと考えている。

経常収支比率及び医業収支比率

(単位：%)

	H30実績	R1実績	R2実績	R3		R5目標	R6目標	R7目標
				上段：目標	下段：実績			
経常収支比率	90.0	109.6	94.3	95.0	98.7	99.5	100.2	99.8
				100.7	98.3			
医業収支比率	74.6	89.5	77.1	77.3	82.3	83.3	84.0	83.6
				79.6	75.8			

(分析)

経常収支比率、医業収支比率とも目標値を下回っており、収益の改善が課題であることは変わらない。医業収支比率にあっては、対前年では医業費用も減少(1,131,943千円→1,121,224千円)しているが、医業収益の減少額(901,492千円→850,195千円)のほうが大きく、比率も低下している。

職員給与比率及び材料費対医業収益比率

(単位：%)

	H30実績	R1実績	R2実績	R3		R5目標	R6目標	R7目標
				上段：目標	下段：実績			
職員給与比率	87.3	72.7	88.1	85.6	79.3	80.1	80.0	80.8
				85.8	89.1			
材料費対 医業収益比率	15.1	13.1	14.3	15.0	14.8	14.8	14.8	14.8
				13.0	13.1			

(分析)

職員給与費は金額では前年度の 2.0%の減となっているが、医業収益が減少しているため比率は上昇している。

材料費は、新型コロナウイルス感染拡大や院内クラスターの発生により、診療材料は増加したものの、薬品の在庫調整や患者数の減に伴う給食材料費の減少しにより、目標値を下回る結果となった。

一般会計繰入金

(単位：千円)

	H30実績	R1実績	R2実績	R3	R4	R5目標	R6目標	R7目標
				上段：目標 下段：実績	上段：目標 下段：実績			
収益的収支 一般会計繰入	361,598	588,373	420,110	367,399 456,693	368,000 449,356	368,000	368,000	368,000
資本的収支 一般会計繰入	69,389	60,970	102,303	55,054 56,754	55,758 73,765	54,003	53,142	54,313

(分析)

収益的収支に係る繰入は、収益の減を補填するため年度末において資金不足とならない程度に増額補正を行い、合計で約4億5千万円の繰入で目標値を約8千万円上回った。

資本的収支に係る繰入は、建設改良に要する経費として医療用画像読取装置の更新に伴う過疎債借入分の繰入により、目標値を上回った。